

テックドクターによる現地診断 (大分県由布市湯布院町川西地区)

- 国道210号の法面についてテックドクターに確認頂くと共に現地診断して頂き、今後の対応について意見を伺った。
- 開催日：令和6年12月9日
- 参加者：TEC-Doctor名（日本文理大学 池見教授、大分大学 鶴成教授）
大分河川国道事務所、日田国道維持出張所

● テックドクターによる現地診断



【TEC-Doctorの見解】

- 不安定な転石は除去し、浸食されている凝灰角礫岩露頭は、落石対策工を実施した上で、新たに防災カルテ点検(要対策箇所)で監視することについて、了解した。
- コンクリート擁壁の背面にポケットがないため、土砂を撤去することが望ましい。
- 浸食されている凝灰角礫岩露頭については、上部の木が不安定化の要因となるため、伐採することが望ましい。